

生活支援コーディネーター活動日誌

【長野県シニア大学】

県シニア大学はこれまで座学中心の講座を展開していましたが、超高齢社会を迎える現状において、学生となるシニア世代が卒業後地域と関わりを持てる人材となれることを目的とし、社会活動講座も取り入れた形に近年変わりました。



活動計画から自分達で考えます。

2年間の受講期間の中で、学生それぞれが興味を持ったこと、得意な事に関連した活動を地域の中で実際に行います。

そのなかで、地域の課題に気づき、仲間作りの大切さを実感し、活動していく上で必要なもの(相談・協力機関や補助金等)を身につけていきます。

地域での活動は、集いの場・傾聴・学校支援・生活支援・健康づくり、等々多岐に渡ります。

これまで私も何度も参加させていただきましたが、シニア大生の皆さんの熱量の高さにはいつも驚かされ、地域での活動の多様性を勉強させていただいています。

今年度も新たに地域に巣立つシニア大生達がありますが、その想いが途絶えないよう、地域とつながっていけるよう、関わりを持ち続けたいと想います。



子供達と郷土食づくり。

「知らなかったことが沢山学べた。」

「自分自身が楽しめた。」

「いくつになってもチャレンジできる。」



活動の集大成！
活動内容を発表し、みんな
で想い共有します。

「意外と難しかったこともあった。
でも楽しめた。」

「これからも続けたい！」

【メモ】生活支援コーディネーターとは…

支え合いの地域づくりに向けて、

- ①地域の中で支え合い活動が生まれるよう、広がるよう、人・場・活動・情報、などをつなぎます。
- ②地域の支え合い活動(『地域のお宝』)を、目に見えるように・活用できるように・役割がわかるように、発信します。

ちょっとした困り事を手助けしてくれるようなボランティアさん、地区の方が気軽に集まれるような場、高齢者に優しいお店やサービス、地域の中で活躍されている方等の「地域のお宝」情報を教えてください☆



中野市高齢者支援課
生活支援コーディネーター:小島杏子
電話:22-2111(内線 366)